

【社会】



<学習内容> 「日本の歴史」教科書「歴史編」

◆ 「^{じょうもん}縄文のむらから^{こふん}古墳のくにへ」（教科書10～15ページ）をもとに、^{やよい}弥生時代の^{じだい}の暮らしについて、それぞれ調べ、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 弥生時代の暮らしについて「住居・道具・食べ物」の3つの視点でまとめましょう。
 - ・【住居】 ……何という家で、何を使ってつくっていましたか。
 - ・【道具】 ……どのような道具をどのような目的で使っていましたか。
 - ・【食べ物】 ……どのようなものをつくっていましたか。
- (2) 縄文時代（教科書12～13ページ）と弥生時代（教科書14～15ページ）の想像図を見比べて、同じところとちがうところを2つずつ書いてみよう。

ことば(P10)

- (3) 弥生時代に米づくりが始まって、人々の生活はどのように変わりましたか。下の（ ）に言葉を入れてまとめてみよう。

米は（ ）ができ、（ ）もあるので、人々の生活の安定に役立った。米づくりが伝わることにより、（ ）も大きく変わっていった。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・歴史の学習は知識を暗記することがすべてではありません。前の時代と次の時代を比較して考えることが大切です。縄文時代と弥生時代は、米づくりによって生活の様子や社会の様子が大きく変わるため、比較して考えやすい時代と言えます。